

### 三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【広野市民センター：出席者数：18人】

日時：6月20日（日）10：00～11：35

	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>プラスの面はかなりわかりましたが、認定こども園化することに対するデメリットは全く出ていません。こんなことが問題になるのではないかということは何かありますか。</p> <p>例えば、幼稚園の教育に保育が加味されます。そうしますと、今の現場のスタッフ、先生方にかなりのご負担がかかってくるのではないかというようなことが危惧されます。</p> <p>藍や本庄は通園バスを使って通園されますが、その時間はどれくらい見られているのか、費用負担が発生するかなど、いろいろデメリットも考えられると思いますので、そのあたりをどのようにお考えなのかをお伺いします。</p> <p>2号であれば費用負担は発生しますか。</p> <p>広野幼稚園は4歳児、5歳児ですが、今度は3歳児からの受け入れとなります。認定こども園へ子どもを通わせようとするれば、3歳でも4歳でもいいという形になるのですか。</p>	<p>教育に保育の部分が加わりますので、当然、今の職員数で子どもを見るということは難しいと思います。子どもたちを安全に安心して預けていただけるように職員数を増やし、十分な体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>認定こども園も保育所も幼稚園も幼児教育については、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領も3歳児以上の内容は同一のものとなっています。認定こども園とすることで、子どもたちに教育を受けてもらいながら子育て世帯の就労支援というところで安心して子どもさんを預けていただけるように保育の体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>通園バスに関して、子どもの通園にかかる時間、安全については非常に大事なことでと考えています。昨年度、現在幼稚園に通われているお子さんのお住いでどれくらいかかるかを計測しています。ゆっくり走って、最長40分ぐらい、実際はもう少し早く走れると思います。認定こども園化されたときには、実際に通われるお子さんの乗り降りする場所が変わってきますので、地域や保護者の皆さんと一緒に検討させていただきたいと思います。また、1号で通われているお子様については無料で考えています。</p> <p>閉園となって幼稚園に通われているお子さんの通園距離が遠くなることに対する支援としてバスの運行を考えていますので、送迎は1号のお子さんを対象として考えています。2号のお子さんの送迎は、現状では考えていません。</p> <p>3歳からでも入れますし、4歳からでも入れます。</p>
B	<p>住民説明会を何回か開催していただいている、いつぐらいに再編するのか、しないのかということが決まりますか。</p>	<p>今、地域の皆さんと意見交換会をさせていただいています。全地域を回らせていただいて、それについて持ち帰って検討するということになろうかと思っています。</p> <p>時期が現時点で決まっているわけではありませんが、手続き的に言いますと、計画案に内容を追加しないと皆さんに安心いただけないこともあるのではないかと思いますので、そのあたりの修正等について検討します。そして総合教育会議などの意思決定の手続きを経て修正案を作り、その後にパブリックコメントで市民の皆さんにご意見を頂戴し、それを踏まえて最終的に決定という形になってく</p>

		<p>るかと思っています。</p> <p>いつまでにしないといけないということではございませんが、内容が内容ですので、いろんなご意見をいただいているので、どうすれば再編計画自体をより良いものにできるかということを考えながら進めていきたいと思っています。</p>
	<p>私自身は再編に賛成ですけど、先ほどの説明の中では、受け入れできない子どもがいるのではないかという意見や、支援が必要な子どもに対しての不安があるというような意見がありました。それ以外にどのような反対意見が出ていますか。その反対意見に対して、どういう対応を取ろうとされていますか。</p>	<p>2号認定こどもの受け入れのお話ですが、待機児童数の合計数が39名になっています。昨年の意見交換会でお話させていただいたときは57名でした。</p> <p>この再編計画案では、新たに認定こども園2園を設置することとしています。そこで保育の必要なお子さんを受け入れますが、幼稚園と違い、保育の部分というのは、保育の必要性があるからお預けになりたいというところですので、利用にあたって市内全域での調整がかかります。保育の必要性に応じて、指数をもとに判定をしていくこととなります。</p> <p>例えば、広野や志手原に近い方でなくても、どうしても預けたいということであればそこにお預けになり、それぞれの園区にいらっしゃる子どもさんの中で、保育の必要性のある子どもさんが入れなくなるのではないかと懸念についてのご意見でした。</p> <p>今年の状況では、広野地区の待機児童は1名です。令和4年4月にゆりのき台に新たに保育所が120名規模で開園をすることになっておりますので、この中で保育の必要なおさんは、ある程度解消ができるのではないかと考えております。</p> <p>今の状況を見ますと、新たにつくる認定こども園でその園区の保育が必要なおさんの受け入れというのは十分可能ではないかと考えております。</p> <p>支援の必要なおさんについて、人数が少ない方が、先生の目が一人一人の子どもさんに行き届くのではないかとこのところですが、市立幼稚園には園児数が10人未満の園もたくさんあり、3人や6人の園もございます。先生の関わり方が濃くなるというのはそのとおりですが、支援が必要なおさんに対する対応というのは、人数が少ない園でも大きな園でも、これまでから直接的に先生が関わる中で対応してきているところです。</p> <p>再編計画案に反対されているそれ以外の意見ですが、資料集1ページの特別な支援が必要な方のことや通園バスに関する事などは、再編計画が実行された後の心配事項だと思います。再編計画そのものに対するご意見としましては、適正規模に関する事で、同じ学年で1クラス15人から30人が望ましいとさせていただいておりますが、もっと小さくてもいいというようなご意見を頂戴しています。</p> <p>これに対しましては、子どもたちが家庭から出て初めて社会に出るといった、</p>

		<p>家庭や地域だけでは学べない同年齢の子どもたちが集まる幼稚園という場所で、仲間づくりや友だちとの付き合い方みたいなどを学んでいくことも重要ではないかと思っています。先生と子どもさんの関係だけではなく、子どもさん同士の関係性についても身につけていくことが重要と思っていますので、そのあたりについては、これからも丁寧に説明していきたいと思っています。</p> <p>もう一つ大きなものとしては、再編後の認定こども園の設置場所に関することです。それぞれの地域に行きますと、認定こども園はここにある幼稚園においてほしい、集約するのはいいとしても、ここがいいとおっしゃる方が多く、その方々にも申しあげていますが、それぞれの園が素晴らしく、皆さんに愛されていることは私たちも承知しています。</p> <p>集団規模 15 から 30 人の子どもさんが集まるような園にしたいというのが私たちの願いです。そのための認定こども園化ですが、就労支援の話でいいますと、事業所や皆さんが働く場所とご自宅の間で行きやすいところはどこだろうと地域の中で探すと、どうしても志手原や広野にならざるを得ないということで再編計画案ではそのようにしています。そのあたりについても丁寧に説明させていただきます。</p>
C	<p>いつまでに決めるということではないという話が説明の中でありましたが、昨年9月の市議会で市長は今年の3月までに決めるというふうに言われて提案されました。昨年の地域説明会で、なぜそんなに急ぐのですかという質問に対して、それをやらないと間に合わないのですという説明がありました。</p> <p>その間に合わないという説明の日程、広野地域は三輪地域より1年早く実施していくという案が出されているということは、いつまでに決めることではないという答えというのは違うと思います。なぜそんなに変わってきたのかをご説明ください。</p> <p>最後のところの意味がよく分かりません。時期的なことについては、唐突なこともあったし、庁内でも市民の皆さんが反対や理解が</p>	<p>当初、幼稚園の状況を踏まえて、早く保育サービスを提供できる認定こども園をつくりたいということで地域の方に説明し、議会でもそのようにお答えしました。ただし、地域の方々のご意見を頂戴しますと、再編後の心配もさることながら、再編計画そのものに対するご心配、ご意見、それから突然の提案ではないかという、地域にとっては、準備が十分でないままにこの話を持ってこられてもすぐに決断が出せないというご意見もいただいています。庁内でも、いくら大切なことであっても、市民の方々の反対が多いままで、ご理解いただけないままに強引に進めていくのはどうかということがありました。再編計画案の中でもスケジュールを書いています、再編計画案を変えるには一定の手続きが必要となりますので、このままのスピードでいけるのかということと難しいところはございますし、地域の方々の意見を頂戴しながら、計画に追記するようなことも考えながらやっていきたいと考えております。</p> <p>この再編計画案でやろうとしていることは、早くやった方がいいという認識は変わりませんが、地域の皆さん、保護者の皆さんのご意見を伺いながら丁寧に説明したうえで進めていきたいと考えています。</p> <p>この再編計画案が目指すところ、その考え方については変わりありません。時期的なことや、今からできることが一体何かということは更新が必要ですし、皆</p>

<p>不十分であるから、もう少し考えていきたいということをおっしゃっていました。ところが、計画の中身については今のところ変えるつもりはないということは、市民の皆さんがいろんな意見を出されてもそれはお聞きしません。時期的なことやバスのことなど、一定のことについては考慮していくけれども、認定こども園にすることなどの基本的なこと、つまり計画の中身については変えることはしませんということをおっしゃったということで間違いありません。</p>	<p>さんがご心配になっているような項目について、この再編計画案の中に書かれていないのであれば、記載をしなければなりません。</p> <p>ただ、大切なこと、集団規模といいますか、子どもさんが学び合う機会をつくるということと、農村地域にお住いの皆さんに午前7時から夜7時までお預かりをさせていただけるような施設をつくることで、地域の若い世代がこの地域で残っていただけるきっかけになるようにしたいという思い自体は変わっておりません。</p>
<p>了解したわけじゃないですけど、そういう説明だということは理解しました。</p> <p>これまで説明の中で、人口減少、子どもたちの人数がこのように減りますということが示されました。ところが、再編をするとどうなるかというのが出されていません。そのままの数字を当てはめているだけで、再編をすることによって、農村地域の不便さやそこで子どもたちの人数が、実際はこの数字より更に減ってしまうということが懸念されます。なぜかという平成の大合併で合併された周辺のところは、人口や子どもたちの人数が大幅に減ってしまっています。</p> <p>その地域で子育てができないような環境、つまり幼稚園や、先ほど小学校についてはまだ考えていないと言われましたが、すでに小学校についても適正規模という形が表示されています。どこの地域に小学校を合併するということは書いてないですが、幼稚園と同じように統廃合を進めますということが示されていますので、先ほどの答弁は間違っていると思います。</p> <p>いずれにしても統廃合して1か所にまとめていくことによって、逆に農村地域で子育てができない環境になってしまうと、その地域での人口減少、子どもの人口減少が更に進むということは統計的にわかっていることなのに、それをなぜ示そうとしないのですか。</p>	<p>認定こども園を2つ新たに設置したとしても、今の市立幼稚園がなくなることによって人口が減っていくのではないかとご意見かと思えます。</p> <p>市立幼稚園はこれまで10園を維持してきましたが、その中でも市立幼稚園に通うお子さんの数は減ってきています。そうしたことは、それぞれの地域の中で市立幼稚園だけでは受け入れることのできないニーズの方々が一定いらっしゃるということです。そのことを考えると、その地域にお住まいの方のニーズに応えられるような施設をつくっていく必要があると思います。</p> <p>市立幼稚園の園児数は252人ですが、例えば、ウッディタウンにある民間の認定こども園では、1施設で250人を超える子どもを受け入れているという状況もあります。もちろん、市立幼稚園を1か所にまとめるようなことも考えていません。それぞれ、広野や志手原というところに認定こども園、一定のニーズに対応できる形で施設を残していかないといけないというのが私たちの考えです。</p> <p>人口が減るといえるのはいろいろな要因がございますので、それをひとつで片づけるわけにはいきませんし、認定こども園ができたからといって、それだけで人口が増えるのかというと、それはわからないと思います。人口減少の要因について見ていただきましたが、少子化や若年層の流出、それらが要因となっています。</p> <p>少子化というのはそれぞれ個人のご判断という面があります。若年層、就職をしてから子育て世代になる頃に流出しています。それは就職して大阪や東京に行きたい、そこで仕事をしたいという方もたくさんいらっしゃいます。三田市は利便性が高いところで、どこに住んでいてもそれなりの時間で駅までアクセスできて、大阪に通うことができるにも関わらず、若年層は、流出しています。その要因の一つとして、子どもを育てる際に近くに預けられる施設がないというのも一つの不安要因ではないかと思っています。</p> <p>農村地域には、今、幼稚園が7園あって、園児数が減っているという状況です。その地域にお住まいの方が、既成市街地やニュータウンまで子どもさんを預けに行かれているような状況があるので、できたらもう少し近いところでそういっ</p>

		<p>たサービスが提供できる施設があった方がいいという判断です。</p> <p>ただ民間の認定こども園や保育所の規模や園児数などを見ていただきますと、なかなか太刀打ちができない1園あたりの人数となっています。こういった認定こども園を農村地域で設置し運営するのならば、公立の幼稚園でしかできないだろうと思います。公立の幼稚園であるからこそ、ある意味でセーフティネットといえますか、既成市街地やニュータウンの中で、集団教育でいろんな力をつけていただいている環境を農村地域にもつくっていきたくて考えています。そういった施設がない方がいいということであれば、それはご意見としてはあるかもしれませんが、私たちはそういった施設が必要だと考えています。</p> <p>このままいけば人口は減少していくということに対して、何かできることはないのかと考えて、ご提案させていただいているのもこの再編計画でございます。</p> <p>このまま何もせずに、10人以下の園がたくさん生まれてきて、それで良かったと言えるようになるかという、幼稚園を運営する側としては、なかなかそうは言えません。農村地域にも若者世代が残っていただけるような施設が、それぞれ東と西の一つでもあれば、それがひとつのきっかけになるかもしれない、なってほしい、皆さんにもこの施設ができたからここで子育てしようというような声をかけていただけるような施設になればいいと考えています。</p> <p>今、市立幼稚園は15人未満の幼稚園が7園、そのうちの3園が10人未満となっています。幼稚園は遊びを中心とした体験を通して、子どもたちが学び合うところです。友だちと一緒に心を通わせて遊ぶ、その中で心が通じ合う、楽しさを感じたり、ときには喧嘩をしたりしながら、人と協調する、折り合いをつけるといった人と関わる力を身につけていく大切な場所です。その大切な遊びを子どもたちがしたいと思ってもできないぐらいに友だちがいなかったり、遊び込むことが難しい状況になっています。そういった現状の中で、園を集約する中で子どもたちが触れ合いながら、育ち合っしてほしいという願いを持って作ったのがこの再編計画案です。</p>
D	<p>令和5年度に3歳児2号認定で申請しようと思っている者ですが、定員が25名、2号認定は5人以内、ただし、1号認定の受け入れ状況によると書いてありますが、逆に1号認定が多ければ、2号認定の定員は減りますか。</p> <p>令和4年度から改築工事が始まると書いてありますが、実際に入れようと思うと見学に行くと、具体的にスタッフさんが何人かとか、施設の状況とかを見に行かないと、申請するか、他のところに申請</p>	<p>定員については、3歳は定員25名、今のところ2号認定については各学年5名以内としています。というのも、幼稚園がなくなるということで、集約される3園の1号のお子さんを優先的に受け入れさせていただきます。9月頃の1号認定のお子さんの受入状況を見て、2号認定のお子さんの受入人数が決まることになります。</p> <p>給食については、現在、市立幼稚園は小学校と同じように学校給食で、給食センターから配送されています。認定こども園についても、引き続き学校給食で対</p>

	<p>するかを考えないといけないので、具体的な数字があれば教えてください。</p> <p>2号認定になると預かり保育が何時から何時までとか、土曜日もやっているのか、長期休暇があるのかどうか、給食はどうかとか、書いてあるかもしれませんが、具体的に教えていただきたいと思います。</p>	<p>応したいと考えています。長期休業日や土曜日は学校給食での対応は難しいですので、民間の事業者も含めながら、今後検討していくこととなります。</p> <p>預かり保育は1号認定ということになりますので、土曜日はない形になります。ただし、幼稚園の長期休業期間は預かり保育を実施することになります。</p> <p>今のこの再編計画案には、認定こども園の実施時期を記載していますが、意見交換会を昨年から引き続き開催させていただき、今も計画として確定したものになっていない状況から考えますと、実施時期というのは少しずれる可能性があります。</p> <p>私たちも可能な限り、多くの方の理解を得ながら進めていきたいと取り組んでいるところですので、非常に大きな期待をいただいているところ、大変申し訳ございませんが、実施の時期はずれる可能性があります。</p> <p>1号、2号の受け入れについてですが、資料集12ページに各園区内の年齢ごとの子どもさんの数を記載しています。今施設に通われているお子さんはおそらくそのまま今入園されている施設をご利用されると思いますので、そこから差し引きした人数が新たに広野にできる認定こども園に行かれたりする人数が推定できると思います。1号でどれぐらいの子どもさんが入るであろうとか、2号で預けたいと思われる方がどのぐらいかというところは、おおよそのところは推計できると思いますので、今の定員25人ですと、おおよそ対応できるかなというふうに思っております。</p>
	<p>1号から途中で2号に変えることもできると聞いたような気がしますが、1号で申請して途中で2号に変えることもできるのですか。</p>	<p>全体の定員25人の中で、1号認定で入られている方が2号認定に変わるということはありません。2号認定の場合は、申請の中で保護者の方の就労状況などの保育の必要性について判断させていただきます。保育の必要性があるということになれば、2号認定ということで、通常の保育標準時間を受けていただいたり、延長保育を受けていただくことは可能になります。</p>
E	<p>人口推移を計算していただいて、おおよそこれで受け入れできるだろうという見込みでの統合という形だと思います。広野、本庄、藍の人数の見込みで定員が70名になっていると思いますが、現在、ニュータウンの方からもたくさん入られています。その方たちの対応としてゆりのき台に定員120名の保育園をつくるとお聞きしましたが、園費などの関係でこちらに行きたいという方はいらっしゃらないでしょうか。その場合は、優先的にこちらの方にお越しいただけるのかもお聞かせください。</p>	<p>待機児童は、ゆりのき台に新設保育園ができるということからある程度吸収できるというところはおっしゃるとおりです。</p> <p>令和元年10月から3歳から5歳の子どもさんについては、幼児教育・保育無償化となっています。私立園でも公立園でも、基本的には費用が発生しないということになっていますので、費用面が選択の条件ということにはならないと思います。</p> <p>現在も基本的には園区は存在しています。園区外からの通園を認めていますのでニュータウンからも来られています。藍、本庄、広野の園区内にいらっしゃる方を優先的にするというところは前提としてあります。基本は園区内の方が優</p>

		先という考え方は変わっておりません。
F	<p>この計画案では母子の方は母子からずっと広野へ通園するのですね。</p> <p>広野は、本庄と藍の2園からですね。結構距離があります。保護者の就労支援だと言われてはいますが、本当に就労支援になるのかと思います。</p> <p>集団は15名から30名の規模が理想と言われていますが、それよりも小さくしたら遊ぶことができない、遊び込むことができないほど人数が減っているという話にちょっとショックを受けています。</p> <p>子どもは1人でも2人でも遊べます。集団でも遊べます。やはり子どもが主体ではないでしょうか。人数ではないと思います。遊ぼうと思ったら、1人遊びも遊びです。少なくとも遊べる。</p> <p>子どもは本当に知能発達すごいです。学ぼうと思って学んでいるわけではなく、日々の生活が学びです。学び合うためには集団がいるとか、15人はいるとか、決めつけがすごいです。市の人の発言は威圧的に受け取れました。</p> <p>ウディタウンの方は人数が多いですが、農村で保育するというのはのんびりしていいと思います。それを生かして、少なくとも保育ができるという確証を持って、市の方も人数が減るから統合するという頭を切り離して、子どもの発達、農村地域の発展、保護者の就労も含めて農村を活性化するというのをどうしてこのビジョンに入れていないのですか。</p> <p>人口というのは、増えたり、減ったりするのが人口と違いますか。今は減っていますが、もっと活性化する方法を市が考えないと。私たち一人ひとりではできません。協力はします、支援もしますが、方針を立てるのは三田市ではありませんか。私から言わせてもらおうと怠けています。就労もありますけど、若い人は魅力がないから東京とかに行くのと違いますか。</p> <p>三田では農村地帯、魅力がある土地があるところをもっと見直すべきではないですか。そういうことが一つも見えてきませんが、どのように考えていますか。ビジョンは全然なく、数字ばかりでは、若い人も住めないといえますか、ついてこないと思います。</p>	<p>いいえ。母子からは広野には通園にはならないです。母子の方は志手原になります。</p> <p>子どもはすごく伸びる力を持っています。1人でも遊ぶし、2人でも何人でも遊びます。そして子どもたちは、一人で遊ぶ中で学ぶことと、友だちとかかわって遊ぶ中で学ぶことがあると思います。幼稚園に来させる意味は何でしょうか。また皆さんと一緒に話ができたらと思いますが、やはり家で経験できないことができるから幼稚園があるのではないかと考えております。</p> <p>幼稚園は公教育です。学校教育法や幼稚園教育要領に則った集団を通じた教育をしていくということが幼稚園の意義だと思いますので、今のご意見も参考にはさせていただきますが、集団の意義というのは子どもにとってとても大切なものだと考えております。</p> <p>就労支援というお話がありましたが、今の市立幼稚園の14時までのお預かりでは長時間働いていらっしゃる保護者の方が市立幼稚園にお預けになるというのはなかなか難しいというところで、認定こども園化することによって、長い時間お預けいただけるようにするというところの計画ですので、そこが就労支援です。</p> <p>学びのお話をされていましたが、まさに日々の生活そのものが子どもの学びではないかなというのは言われるとおりに思います。日々の生活の中で子どもが学んでいくのであれば、子どもさんを幼稚園に通わせていただいて、日々その幼稚園の中で学んでいただくことは何か。そこにいる友だち同士との関わりの中で生活することそのものが学びだと思います。</p> <p>幼稚園に通っていただいて1人遊びをしていただくというのでは、幼稚園に通っていただく意味は、なかなか見出しにくいと思います。</p> <p>幼稚園が小規模で駄目だというようなお話を申しあげているわけではありません。1人遊びというのは子どもさんにとって大事な遊びだと思います。</p> <p>けれども幼稚園に通っていただいて、日々の生活を毎日幼稚園で過ごしていただく中で、どういった生活をしていただくかとなると、やはり友だちがいるということに意味があるのではないかと考えております。</p>